平成 30 年 7 月 7 日岐阜県版

橋梁点検にドローン活用

各務原市 全国初 各務原大橋で

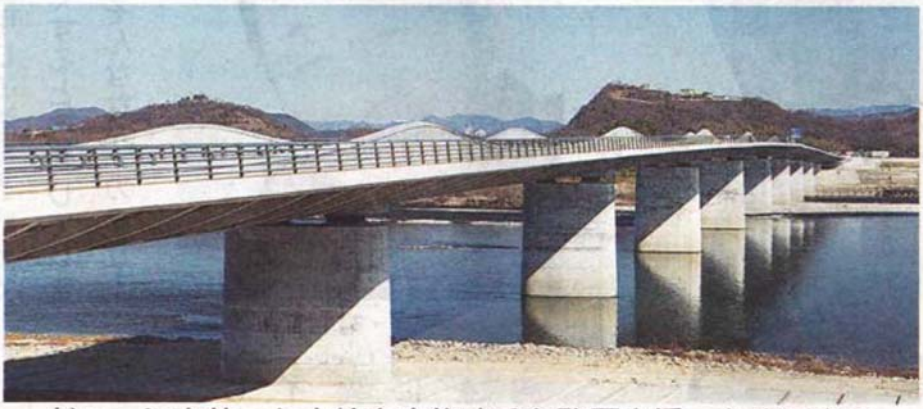
各務原市は六日、木曽川に架かる各務原大橋の点検に、無人飛行機ドローンなどの建設ロボットを利用すると発表した。市によると全国初の試み。交通規制を伴う超大型橋梁点検車の使用日数を、十日から四日に短縮でき、点検費用も三千万円から二千四百万円に節約できるという。

各務原大橋は二〇一三年三月に完成した全長六百㍍の橋。道路法に規定された五年に一度の定期点検の実施が、九～十一月に予定されている。点検では橋を触ったり叩いたりしてひび割れの有無などを調査する必要があり、橋の下部を調べるには専用の超大型点検車が必要だった。傷やひび割れの位置を正確に計測するため、点検車の運用が長期間に及ぶ可能性もあった。

今回の点検では、点検車を使う前に、事前に専用のドローンを使って橋の状況を撮影し、ひび割れの位置や傷みの進行具合を調査。傷んだ場所を事前に特定してから目視で調べるため、これまで以上に効率的な検査が可能になり、期間も短縮できるという。

ドローンの運用は、岐阜大学付属インフラマネジメント技術研究センターとの協定に基づき、一年ほど実際に各務原大橋で実験を重ねて、点検精度を高めてきた。

（大山弘）



ドローンを使った点検を実施する各務原大橋＝各務原市で